

提出 順番	No. 10	平成25年5月30日 (午前)午後11時50分
----------	-----------	----------------------------

平成25年5月30日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 増田 武夫 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>I. 町民の健康を増進させる積極的な施策を展開し、健康の確保と医療費の削減を</p>	<p>先の臨時議会で、国保税が一世帯平均 6,700 円引き上げられた。しかし、値上げ後も続く国保会計の赤字体質の解消のためには、約 25%まで下がってしまった国庫負担率を、S59 年当時の約 50%まで戻させることが第一であるが、一方で町民の健康な生活をいかに確立していくか、そのために行政がすべき役割を果たして、医療費の削減に取り組むかが重要な課題であると思う。</p> <p>厚生労働省は、2月に 2,010 年の長寿日本一は、男女ともに長野県であることを発表し、その要因についていくつもの調査・報道がなされている。</p> <p>長野県では「予防は治療に勝る」との考えから、50 年も前から減塩食の普及運動が始まり、男女ともに野菜摂取量は全国一、喫煙率は全国 44 位(下から 4 番目)など生活習慣の改善が、自治体、地域ぐるみの運動として取り組まれている。そうした運動の反映として、男女ともに長寿日本一となり、国保医療費の低下や、後期高齢者医療費が全国最低レベルを維持する結果となっている。ちなみに一人あたりの後期高齢者医療費は、北海道(H22 年度)107 万円で福岡県、高知県に次いで全国 3 番目と高額であり、幕別町は(H22 年度)1,009,373 円(H23 年度)1,025,666 円、全国平均 90 万円、長野県は 77.1 万円となっている。</p> <p>医療費の削減や高齢者が元気で長生き(長野県の高齢者就業率 29.9%、全国一)という成果を支えているのは、自治体の体制の充実と地域ぐるみの運動であると思う。長</p>

野県の人口当たりの保健師数は全国 2 位となっている。

全国的にも 8020 運動が展開されている。

これらの全国の取り組みや経験に学び、町民が健康で長生きをして、生きがいのある人生を送り、ひいては医療費の削減となるよう、自治体としての取り組みを強めることが求められている。

したがって次の点について伺いたい。

- ① 各種検診業務の 24 年度実績と向上への取り組みは
 - ・ 国保特定健康診査
 - ・ 後期高齢者健康診査
 - ・ 町職員検診 正職員 臨時職員
- ② 早期治療のためにも、国保 44 条の恒常的低所得者への適用拡大を
- ③ 町として、健康を守る運動の推進や年間使用できるプールの新設など施設の確保、高齢者の生きがいの確立を
- ④ 健康推進課の設置など組織の拡充と、保健師の増員など体制の確立を
- ⑤ 幕別町健康増進計画の策定を
H 1 6 年の市町村の 21.2%(北海道)で作成 (全国平均 39.1%)